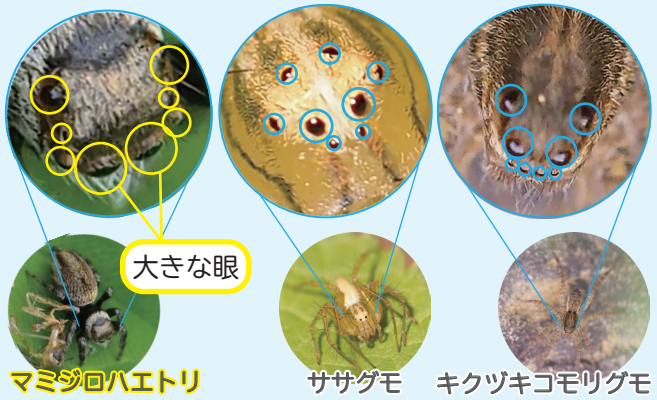
ハエトリグモとは

日本に100種以上生息しているクモ目の仲間で、昭和記念公園には約14種が生息してます。肉食性で小さな昆虫やクモなどを食べます。

ハエトリグモはどれ？

葉の上や地面などを歩いているクモ目の仲間は、眼の並び方や大きさで見分けることができます。ハエトリグモは大きな眼が特徴です。



ハエトリグモの能力

網を張らずに昆虫などの獲物を追いかけて捕まえるハンターです。

高いジャンプ力

獲物を見つけたら歩いて距離をつめます。射程圏内に入ったら素早く飛びついて捕まえます。

マミジロハエトリが
コモリグモの仲間を食べる様子

すぐれた視力

多くのクモ目の視力は光を感じる程度ですが、ハエトリグモは２つの大きな主眼が発達していて、距離感をつかむことができます。そのため、獲物までの距離を見極めることができます。

視覚に訴える求愛行動

多くのクモ目の仲間は振動や匂いで求愛しますが、ハエトリグモは視力がいいため、求愛ポーズでオスがメスにアピールします。

ハエトリグモさがしスポット

点線で囲んだ場所は、内面で紹介しているハエトリグモの仲間がよく観察できるところです。

こもれびの丘
柵や葉の上を見てみよう。マミジロハエトリがみつかるかも。

トンボの湿地
木道からヨシの葉を見てみよう。オスクロハエトリがみつかるかも。

花木園
ハーブ園にある花壇のレンガの壁を見てみよう。シラヒゲハエトリがみつかるかも。

こんなところをみてみよう

足元

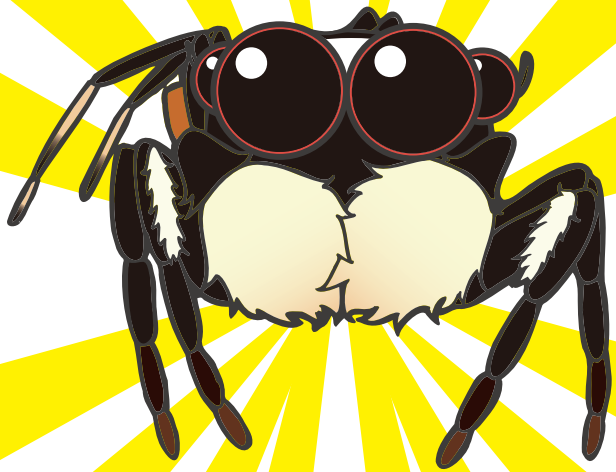
柵や葉の上

壁

公園のきまり

- 園内の生きものは採取したり、持ち帰らないようにしましょう。
- 立ち入ってもよい場所か確認して観察しましょう。
- スズメバチに出合ったら、立ち去るまでじっと待ちましょう。

ハエトリグモをみてみよう



大きな眼でキョロキョロ。
食べものをさがしているのでしょうか？
それともパートナーを
さがしているのでしょうか？

目があったら観察スタートです！

いろいろなハエトリグモをみつけよう

ここでは昭和記念公園でよく見られるハエトリグモの仲間を紹介します。

マミジロハエトリ

実際の大きさ

こんなところをみてみよう

☐ 昭和記念公園では、こもれびの丘の柵の上や草の上にいることが多い

オスクロハエトリ

実際の大きさ

**こんなところを
みてみよう**

☐ 昭和記念公園では、水辺のヨシなどにとまって獲物を狙っている

シラヒゲハエトリ

実際の大きさ

こんなところをみてみよう

☐ 日当たりのいい人家の塀など

☐ 昭和記念公園では、ハーブ園のレンガの壁で見つかることが多い

アオオビハエトリ

こんなところをみてみよう

☐ アリの仲間を専門的に食べるので、クロヤマアリの巣の近くにいることが多い

実際の大きさ

アリグモ

こんなところをみてみよう

☐ 草地や樹林地の草や木の上でアリに擬態して獲物を狙う

実際の大きさ

出典：須黒達巳「今日からはじめる自然観察　おめめぱっちりハエトリグモ」自然保護 No.563、2018 年　馬場友希、谷川明男『クモハンドブック』文一総合出版、2018 年　須黒達巳『ハエトリグモハンドブック』文一総合出版、2018 年